

下請 G メンヒアリングで把握した
取引条件改善に係る優良事例

令和2年7月
中小企業庁

目次

(1) 情報提供.....	1
(2) 発注の継続.....	2
(3) 支払サイト短縮.....	4
(4) 発注キャンセル等の補填	5
(5) 納期遅延への対応.....	7
(6) 価格転嫁.....	8
(7) 未納品分に対する支払い	9
(8) 延期前の納期を基準にした支払い.....	10
(9) その他	11

凡例：（）内は親事業者の業種、【】内は事例の聴取日

（１）情報提供

- 親事業者は、生産計画等の説明及び新型コロナウイルス感染症対策全般について指導してくれ、資金の援助も検討している様子である。（自動車部品メーカー）【2020/4/9】
- 親事業者から、社員がコロナに感染した場合のBCPについての情報があり参考になっている。また、工場の操業停止で影響が有る場合は、何度も相談するようことの申し出があった。（自動車部品メーカー）【2020/4/9】
- 月次の情報が週単位に変わり、より細かく生産計画の変更に対応できるよう配慮されている。（自動車部品メーカー）【2020/4/10】
- 親事業者の協力会からは、補助金情報や、書類作成の指導などあり、助かっている。（建設機械メーカー）【2020/4/17】
- 親事業者は、下請事業者の経営に少しでも悪影響を与えないよう、先々の見通しについて連絡を密にしてくれるなど、全ての対応が非常に協力的であると感じている。（化学メーカー）【2020/5/1】
- 親事業者から、その上位の取引先の生産に係る情報は随時提供されるなど、連携が強化されている。（自動車部品メーカー）【2020/5/14】
- 親事業者が受注した機械の部品を都度発注がされるため、長期生産計画の情報はないが、親事業者から営業活動の状況等の情報は随時提供されている。（産業機械メーカー）【2020/5/18】
- 5月に入り事前に提示される3ヶ月間の生産計画と実際の発注数量の差異が大きくなってきているが、親事業者からは事前に相談があり、当社の原

材料の調達状況及び双方の在庫状況を確認し、数量見直しできている。
（自動車部品のサプライチェーンを維持するため、在庫を抱えることになっても親事業者が数量を増やしてくれることがある）。（自動車部品メーカー）
【2020/5/21】

- コロナ問題に対する政府の施策に関する情報は、親事業者から随時提供されている。（工作機械メーカー）【2020/6/16】
- 親事業者から、必要であれば入手困難な材料について代替材へ変更するなどコロナ支援策の提示があった。（建設機械メーカー）【2020/6/25】
- 親事業者は、下請事業者に対して毎月末に翌月以降の3ヶ月の生産計画を説明し、コロナ対策全般についての指導もしている。（自動車部品メーカー）【2020/7/10】

（2）発注の継続

- 親事業者自身の受注量は激減しているにもかかわらず、当社へは自社在庫分の前倒し発注をして、従来の受注量を確保させてもらっている。（産業機械メーカー）【2020/4/17】
- 親事業者に協力を要請して発注を増やしてもらい、売上の減少を抑えている。（産業機械メーカー）【2020/4/20】
- 親事業者は、自身の工場が停止しているにもかかわらず、下請である当社のことを考えて発注を継続してくれている。（自動車部品メーカー）
【2020/4/22】

- 親事業者は、自社の社員を一時帰休させて当社へ仕事をまわしてくれており、感謝している。（運送）【2020/5/7】
- 親事業者との契約にある指定の生地輸入が滞っており、主力商品の生産が出来ない状況となっているところ、当社の売上減を心配し、当初の契約にない商品の発注を出してくれるなど誠意ある取引対応をしてくれている。（衣料品メーカー）【2020/5/13】
- 親事業者が仕事量維持のために在庫を抱えてでも発注を続けてくれているため、売上は激減してはいない。（建材メーカー）【2020/5/13】
- 親事業者から、自らの在庫となるにもかかわらず発注を続けてもらい、売上をカバーしていただいた。（産業機械メーカー）【2020/5/15】
- 親事業者が必要以上の発注をして在庫とする事で下請事業者をサポートしてくれており、感謝している。（自動車部品メーカー）【2020/5/19】
- 親事業者からの先行発注（先方の在庫となる）の配慮があり売上は横這いで推移している。（建設機械部品メーカー）【2020/5/28】
- コロナの影響で発注量が減っているが、親事業者としても協力会社を失いたくないため、当社に対する通常の発注以外の「つなぎ」の発注を手配する予定とのこと。（自動車部品メーカー）【2020/5/29】
- 例年1月～3月にある発注がなく、4月以降の生産が減少するところであったが、親事業者が前倒しで発注してくれたおかげで通常生産できるうえ、売上も計上することができ、感謝している。（産業機械メーカー）【2020/5/29】
- 通常、納期1週間程度の短納期品が多いが、現在は1～2か月先の発注を出して仕事を繋いでくれている。（電気機械メーカー）【2020/6/1】

- 自動車関係の5月の発注はゼロであったが、親事業者が当社への発注がゼロでは厳しいだろうということで、通常の1/3程度の発注を出してくれた。
（自動車部品メーカー）【2020/6/4】
- 当社の売上の約30%を占めている親事業者は、当社の売上減少を少しでも食い止めようと、従来取引の無かった新しい製品の発注をするといった配慮をしてくれている。（工作機械メーカー）【2020/6/10】
- 親事業者はコロナの影響により売上低迷し海外工場向け輸出が滞っているにも関わらず、6月までは従来通りの発注量を確保してもらっている。当社から納品したものは親事業者が倉庫保管し在庫品となっている。（電子機器メーカー）【2020/6/15】
- 4月～6月売上は対前年比30%程度になることを覚悟していたが、親事業者2社が7～9月分を先行発注してくれたため、前年比50%程度で済んだ。（建設機械メーカー）【2020/6/16】
- 例年夏休み期間中に行っている構内の製造設備ラインのメンテナンスについて、仕事が少なくなると困るだろうと、製造ラインが止まっているこの時期に前倒しで発注していただいております、助かっています。（自動車メーカー）【2020/6/22】

（3）支払サイト短縮

- 大手有名流通業1社が、このような時勢に鑑み、当社をはじめとする中小企業への支払を早くするとのことで、支払サイトを10日短縮してくれた。
（流通）【2020/5/7】

- 新型コロナの影響を受ける期間限定として、4月支払分からファクタリング（サイト60日）から、現金振込に変わった。親会社からのサポートによるもので、非常に有り難い。（自動車部品メーカー）【2020/5/19】
- 4月と5月限定と思われるが、通常の支払条件はファクタリング75%現金25%であったところ、100%現金払いとなった。コロナ影響への配慮と捉えている。（電子機器メーカー）【2020/5/27】
- ある親事業者から、緊急特別対応として、月末締め翌月末現金払いを月に2回締め15日後の現金払いに変更してもらった。別の親事業者からも、月末締め翌月末現金払いを月末締め翌月20日現金払いに変更してもらった。（自動車部品メーカー）【2020/5/28】

（4）発注キャンセル等の補填

- イベント関連のポスターやグッズの仕事が全てキャンセルになったが、当社が準備のために支払った費用分は請求出来た。（広告）【2020/4/10】
- 延期になったイベント準備に要した機材レンタル等の費用は、親事業者に請求し受領できており、取引に関する問題はない。（広告）【2020/4/14】
- 3月クランクインの仕事が中止されたが、事前にかかった費用については同社が負担するとの回答を得ている。（映像制作）【2020/4/20】
- 内示数より発注数が少ない場合は、購入した原材料分は買い上げて貰っている。（自動車部品メーカー）【2020/4/28】

- 内示は取消されたが、着手済みの分は通常通り納品できた。（繊維メーカー）【2020/4/30】
- 客先の事情でテレワークできず自宅待機している社員、テレワークのため成果物が本来の計画より落ちていても社員とも、人工計算による費用は払ってもらっている。（情報サービス）【2020/5/8】
- 新型コロナ感染症の発生当初は、キャンセルや数量の変更等があったが、購入済み原材料を含め当社負担部分は全て親事業者から補填を受けている。（自動車部品メーカー）【2020/5/21】
- スーパーのチラシ製造が急遽中止となったが、制作費等かかった費用は支払いしてくれたので助かった。（スーパー）【2020/5/22】
- 部品の製造を止めてくれといった要請が起きているが、仕掛かり品については、その費用をみてもらっている。（自動車部品メーカー）【2020/5/27】
- 制作途中でキャンセルになったチラシの仕事があったが途中までの代金は貰えた。（印刷）【2020/5/29】
- 発注後キャンセルがあったが、当社顧客と協議をして仕掛品の代金は支払ってもらった。（不明）【2020/6/1】
- 企画が立ちあがったものは、途中で中止になっても、それまでかかった費用は清算してもらっている。（化粧品メーカー）【2020/6/2】
- 中止になった展示会用の商品について、加工済の分は買取りをもらっている。（衣料品メーカー）【2020/6/16】
- 親事業者2社からそれぞれ納品を遅らせてほしいとの要請を受けたが、両社からは、部品の保管時は近隣で保管倉庫を借り、倉庫料等新たに発生

する費用は請求してくださいと連絡を受けている。(プラントメーカー)
【2020/6/23】

- 注文のキャンセルがあったが、きちんとキャンセル料などを貰うことが出来ている。(テレビ局)【2020/7/3】
- 編集前の段階で中止となった案件があったが、見積書で項目立てしている撮影までの費用とキャンセル料は支払われた。(広告代理店)
【2020/7/3】

(5) 納期遅延への対応

- 当社から中国に一部を製造委託しているため、中国での製造ができていないことから仕入れが1ヶ月以上遅れ、親事業者への納期遅延が発生しているが、親事業者には柔軟に対応してもらっており、問題にはなっていない。
(鉄鋼メーカー)【2020/4/9】
- 中国での製造部品が予定の春節前に調達できず、納期遅延となったが、親事業者には事前に説明して了承を得ていたため、受領拒否等の問題はなかった。(化粧品メーカー)【2020/4/17】
- 1月～2月に、生産拠点からの輸入仕入れが遅れたが、客先が納期変更に応じてくれた。(化粧品メーカー)【2020/5/8】
- 5月に従業員を2交代とし、ライン稼働率を50%としながら取引量を全体で落とさないようにするため納期を先延ばしにしてもらえるよう依頼し、親事業者2社ともに対応いただいた。(自動車部品メーカー)
【2020/5/20】

- 製品の 80%は海外生産であり、輸入が遅れ、納品が遅れたこともあったが、取引先の理解を頂き、罰則はなかった。（衣料品メーカー）【2020/5/29】
- 当社の感染防止対策のためのレイアウト変更による納期繰延べについて、親事業者に理解頂いた。（自動車メーカー）【2020/6/3】
- 原材料である部品が各国から調達しづらくなっており、納期が遅れているが、親事業者には事情を理解してもらい柔軟に対応してもらっている。（電気機械部品メーカー）【2020/6/4】
- 当社の工場ではまだ一部操業短縮をしているが、親事業者には納期調整に対応いただいている。（自動車部品メーカー）【2020/7/7】

（6）価格転嫁

- 支払条件や取引内容の悪化はなく、発注キャンセルもない（継続品の型でなく、開発品の型であるため）。また、原材料の鉄の価格が上がれば客先から連絡があり、鉄の価格上昇分を取引価格に反映してくれる。（工作機械メーカー）【2020/4/14】
- 外注先の倒産や人員縮小で外注単価が上昇しているが、親事業者は上昇分を認めてくれている。（電子部品メーカー）【2020/5/14】
- 取引先は大手医薬品メーカーが多く、日頃から独禁法や下請法を熟知しており、コロナ禍でも取引条件の変更等しわ寄せはなく、価格面でもコストが上がれば要請に応じて転嫁を認めてくれる。（医薬品メーカー）【2020/5/18】

- 材料の仕入が遅れており、国内在庫で対応するが、価格は上昇している。親事業者には、納期優先で対応すると部品代が上昇する旨を説明し、追加で料金をもらう等、柔軟に対応してもらっている。（電子機器メーカー）【2020/5/27】
- コロナの影響か否かは分からないが、中国から輸入している部品材料の価格が5%上昇した。ただし、原材料の値上げ分は親事業者の理解により値上げを認めてもらい、価格に転嫁できている。（自転車メーカー）【2020/5/27】
- 中国から仕入れている材料が入手困難になった時があったが、特急対応のための航空便の運賃も支払ってもらえた。（産業機械メーカー）【2020/6/17】

（7）未納品分に対する支払い

- オリンピック関係の製作物は再開後に使用するため自社にて保管しているが、親事業者は作成費用及び、追加の保管料を支払ってくれるので助かっている。（食料品メーカー）【2020/4/21】
- 3月末納期の受注が納期未定で延期になった。生産してしまったので、当社で保管しているが、親事業者から納期通りに支払いはされている。（自動車部品メーカー）【2020/4/24】
- 工事現場に納品完了後、請求し支払われるのが基本であるが、現在工事がストップで納品できない。しかし、状況を考慮して発注した製品に関しては支払ってくれる。（建設）【2020/5/14】

- 5・6月の納品分について、親事業者の生産調整の影響で出荷待ちになっているが、代金は発注書に記載されていた予定通り支払われている。（建設機械メーカー）【2020/6/16】
- 納期延期の依頼を受けたが、加工費・管理費等は先に支払われたので助かっている。（自動車部品メーカー）【2020/6/19】
- 親事業者2社からエンドユーザーの都合で納品の延期を依頼されているが、その代金と倉庫保管料は貰っているので実害は無い。（電子部品メーカー）【2020/7/2】

（8）延期前の納期を基準にした支払い

- 納期が1～2カ月延期されたものもあるが、当初の納期通りに支払ってもらった。（産業機械メーカー）【2020/5/1】
- 工期遅れが発生している現場もあるようだが、納入時点を起算に、代金は適正に支払われている。（建設）【2020/5/20】
- 4月納期分の一部が、親事業者の保管場所不足で相談を受け、当社の在庫となっていたが、その製品代金は発注時通りの条件で支払われた。（自動車部品メーカー）【2020/6/16】
- 操業を停止していた時にも納品をさせてもらえ、東芝側の都合により納品が後倒しになった場合にも当初の予定通り支払をしてもらっている。（電子機器メーカー）【2020/7/6】

(9) その他

- 取引先からの理解もあり、分割納入等により、リスクの分散を図って貰え、支払い猶予・代金先払い等の協力を得ている。(百貨店)
【2020/4/13】
- 親事業者はコロナ感染拡大の緊急事態に配慮し、原材料価格が低下しているにもかかわらず取引価格の据え置きの依頼に応じてくれありがたい。(産業機械メーカー)【2020/4/20】
- 親事業者のテレワークの開始で仕様の指示の遅れが始まり、納期の延長ができない場合は残業などで対応しているが、増加した経費は、割増価格などにより回収できている。(産業機械メーカー)【2020/5/8】
- 2月に原価低減要請があったが、完成車メーカーの原価低減要請見送りに伴い当社に対する要請も撤回された。(自動車部品メーカー)
【2020/5/18】
- 元請が1月末から製品受入を止めてきたが、間に入っている商社へは納品を続けており、代金も受け取った。(不明)【2020/5/20】
- 自社工場で、自社の生産のズレから製品の置き場所がなくなり、納期より早めに引き取ってもらったことがあった。(産業機械メーカー)
【2020/5/22】
- 納期を延期した親事業者が、特に要請していないのに製品の預かり代を支払ってくれることになり、感謝している。(産業機械メーカー)
【2020/5/26】

- 親事業者から、6月7月は仕事を出せないが、その替わり少しでも仕事になるように、他の取引先を紹介すると言ってくれている。（分析機器メーカー）【2020/5/27】
- 親事業者が、6月に在庫を引き受けてくれたので、6月の受注が前年比50%減になるところ40%減に収めることができた。（玩具メーカー）【2020/6/4】
- コロナの影響で納品前の立ち合い検査ができなかったが、ウェブカメラで検収してもらい納品することとなった。（自動車メーカー）【2020/7/1】
- 面談による打合せは頻度をお互いに抑える様になった。時間短縮と経費の削減に繋がっている。（自動車部品メーカー）【2020/7/7】
- 親事業者は、発注数量が減った分の値上げを行ってくれた。（自動車部品メーカー）【2020/7/10】
- 親事業者は下請事業者の金融支援のため、24回分割払い中の金型代金の残額分を5月に一括支払いしてくれた。（自動車部品メーカー）【2020/7/14】